

遠野市助産院の開設

愛称 「ねっと・ゆりかご」

～モバイル遠隔健診主軸に
助産院スタート～

平成20年4月9日

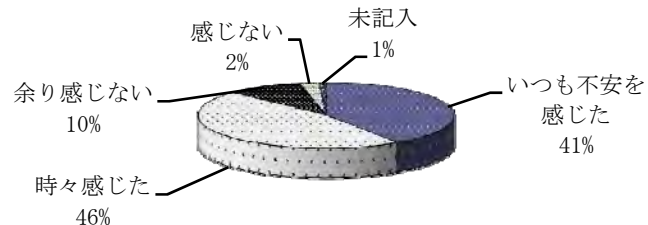
岩手県 遠野市長 本田敏秋

妊婦の不安増大・「出産控え」約4割の危機

(遠野市:平成17年度調査)

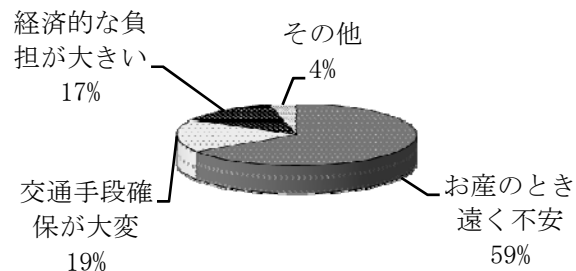
遠野市内の妊産婦を対象に遠野市が平成17年度に実施したアンケート調査では、市内にお産を取り扱う医療機関がなくなり、遠距離通院への不安と経済的負担を感じている人が大多数を占めました。また、地域でお産できないことに**出産を控えたいと感じた人が4割**に達する勢いであり、産科医療確保は緊急課題です。

市内で出産できないことに不安を感じましたか？



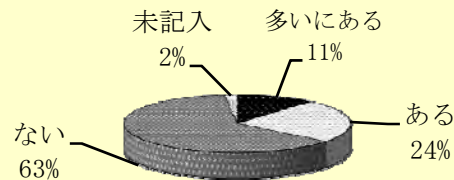
市内に医療機関がないことでいつも不安を感じた人は41%、時々感じた人46%。不安を感じている人は87%に及んでいる。

どんなことが不安でしたか？



どんなことが不安であるかは、お産のときに遠いことが59%、交通手段の確保が大変であることが19%、経済的負担が大きいことが17%の順となっている。

医療機関がないことで妊娠(出産)を控えようと思ったことがありますか？



市内に出産できる医療機関がないことで妊娠(出産)を控える24%、多いにあるが11%あった。控ええないは63%である。

遠野市 産科の現状

14年4月⇒**出産取り扱う医療機関なし**
盛岡市・花巻市・釜石市などに遠距離通院

平成18年度 遠野市在住妊婦の医療機関受診の動向

	水沢	北上	花巻	盛岡	大船渡	釜石	計
妊婦数	1	25	40	119	6	34	225
割合	0.4%	11.1%	17.8%	52.9%	2.7%	15.1%	100%
通院距離(キロ)	55	55	45	63	45	25	—
所要時間(分)	80	80	70	90	70	40	—

※通院距離及び所要時間は、市役所間で算定

現状

- 出産扱う医療機関ない
- 医療機関まで遠く不安
- 経済的(時間的)負担が増加

課題

- 妊婦の不安解消
負担軽減
- 医療機関の確保
- 助産師の活用
- 救急体制の確立

取り組んできた事項

- ・ 妊産婦通院助成事業
- ・ 訪問指導の強化
- ・ 相談の場の確保
- ・ 妊婦健診



※全体の半分以上は盛岡市（53%）に集中。

遠野型助産院ネットワーク構想

<<…お産の文化を見直す…>>

産科を有する医療機関等とのネットワーク

遠野市助産院

助産師 3 (当面2)
看護師又は保育士 1

- ・定期健診
- ・育児相談
- ・思春期・更年期相談
- ・産後の母子ケア
- ・子育て支援機能を付加

コンセプト

- 市内遊休施設の活用
- 中心市街地の活性化
- 遠野の魅力の引き出し
- 交流人口の拡大&遠野PR

- ・経産婦の第1子、第2子等のあずかり保育
- ・施設内勤務者や夜勤の女性の幼児のあずかり保育

介護保険施設との連携

市婦協等ボランティア団体との連携

24時間保育の実現
〈無認可保育所〉

<<遠野消防署>> 救急搬送体制の確立
救急救命士、救急隊員との連携(スキルアップ)、ドクターヘリの配置

協力
県立大学看護学部
(社)日本助産師会岩手県支部

核家族世帯へのサポート

県立病院との連携

スローライフな生活構造

常勤の産婦人科医師の確保(医師確保活動)

新たなスローライフ構想から生まれる生活構造

医科大学病院や地域周産期母子医療センター等の誘致活動

将来構想「安産の里」の実現

ステップ1



ステップ2



ステップ3



機能と
役割

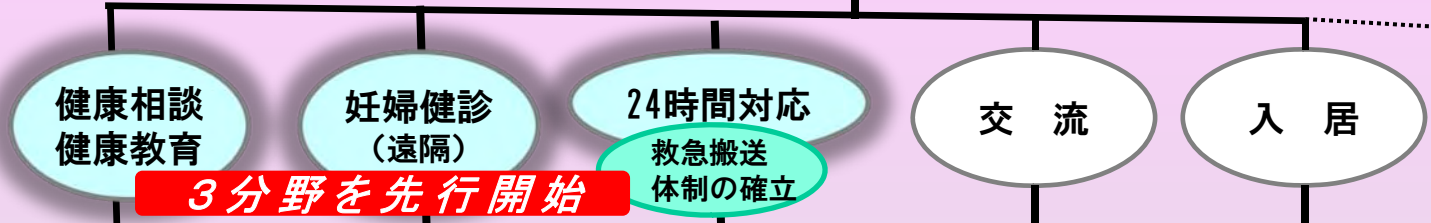
遠野市助産院



妊産婦の不安解消・負担軽減
ネットワークの構築
医師の負担軽減

公設公営

機 能



3分野を先行開始

預かり保育
・24時間保育
・地域ネット
ワーク確立

助産院の役割五つの分野

- ・妊産婦健康相談
- ・分娩開始期相談
- ・乳幼児(育児)相談
- ・思春期・更年期相談
- ・産後及び乳房のケア
(乳腺炎等のトラブル)
- ・健康教育
- ・妊産婦への保健指導
(乳房の手入れ等)
- ・妊産婦及び両親教室
- ・性教育
- ・産科医療機関等の
情報提供
- ・電話無料相談

- ・主治医の指示
で妊婦健診
(妊婦が出産前
に行なう定期
健診を主治医
の指示により
数回実施)
- ・モバイル妊婦
在宅管理シス
テム活用

- ・臨時応急時の
対応
- ・主治医への連
絡及び指示に
よる処置
- ・救急搬送時の
同乗
- ・分娩期相談
(入院のタイミン
グ等の相談)

- ・子育て支援ス
ペースの提供
(妊産婦の幼児
等が遊べるス
ペースを確保)
- ・妊産婦交流ス
ペースの提供
(妊産婦同士が
交流(談話)で
きるスペース
を確保)

- ・妊娠末期から
産褥期の支援
(出産前或いは
出産後に自家
を離れて家族
が安心して生
活できる空間
を確保)
- ・マザーリング
- ・メンタルヘルス

- ・老人介護保健
施設との連携
- ・地域やボラン
ティア団体と
の連携
(経産婦の第1
子、第2子等
の預かり保育)
(施設内勤務者
や夜勤の女性
の幼児の預か
り保育)

助産院で出産は取り扱わない

遠野市助産院「ねっと・ゆりかご」開設

モバイル遠隔妊婦健診をはじめ…
妊婦相談・健康教育等の業務を先行開始



●開設日：平成19年12月1日

●場所：遠野健康福祉の里
(施設の事務室を改装)

●開所日時：毎週 月～金 9:00～12:00
(土・日・祝日休業) 13:00～17:00

●スタッフ

所長 健康福祉の里所長 (健康福祉部長)
保健課 母子保健係

助産師(2人)平成20年4月から

* 主な業務と料金(自由診療) *

- 妊婦一般健診……………3,000円
- モバイル遠隔健診… 4,500円
- 乳房管理……………3,000円
- 新生児健診……………2,000円
- 沐浴……………3,000円
- じょく婦健診……………2,000円
- 緊急搬送付添……………3,000円
(1時間あたり)
- 健康相談・指導…………… 無料

少子化対策の中で、市内はじめ
里帰り出産する妊婦さんの…
無料化を検証中

助産院の愛称は、市民公募をして「ゆりかご」の名称を選定し、更に遠野型助産院ネットワーク構想の具現化を推進する想いを込めて、ネットワークの「ネット」を引用し、親しまれるようひらがな表記として「ねっと・ゆりかご」と決定したものです。

9 医療機関とネットワークを構築

安心

モバイル遠隔健診主軸に連携

安全



県総合周産期
母子医療センター
(岩手医科大学)

嘱託医療機関
盛岡赤十字病院

岩手医科大附属病院
(杉山 徹 先生)
(福島 明宗 先生)

松田 壯正 先生
藤原 純 先生

妊産婦をケア
遠隔健診を活用



緊急対応も

モバイルCTG装置

医療機関と助産師が連携・協力します

指示・連携

小林産婦人科医院 (盛岡)
(小林 高 先生)

県立大船渡病院
(小笠原 敏浩 先生)

安心

遠野市助産院
ねっと・ゆりかご

安全

助産院監督医

黒川産婦人科医院 (盛岡)
(黒川 賀重 先生)

妊産婦を身近でサポート

月1回監督

県立釜石病院
(小笠原 敏浩 先生(兼務))

KUBOクリニック (花巻)
(久保 智秀 先生)

“妊婦主治医の指示で安心安全に”

- 遠隔健診主軸に不安解消・負担軽減
- きめ細かなケアでリスクの低減
- 産後の母子管理と子育て支援
- 緊急時の迅速・円滑な搬送

工藤医院 (花巻)
(小暮 正彦 先生)

妊産婦を見守る

北上済生会病院
(小山 俊司 先生)



遠隔妊婦健診のメリット

小型軽量のモバイル胎児心拍数検出装置(CTGモニタ)で、医師が病院から通信ネットワークを介して、パソコンや携帯電話で遠隔地の妊婦の胎児心拍情報を常時受け取ることができます。



1 遠距離通院負担の軽減

2 健診の待ち時間短縮

3 医療機関との連携でケアの充実

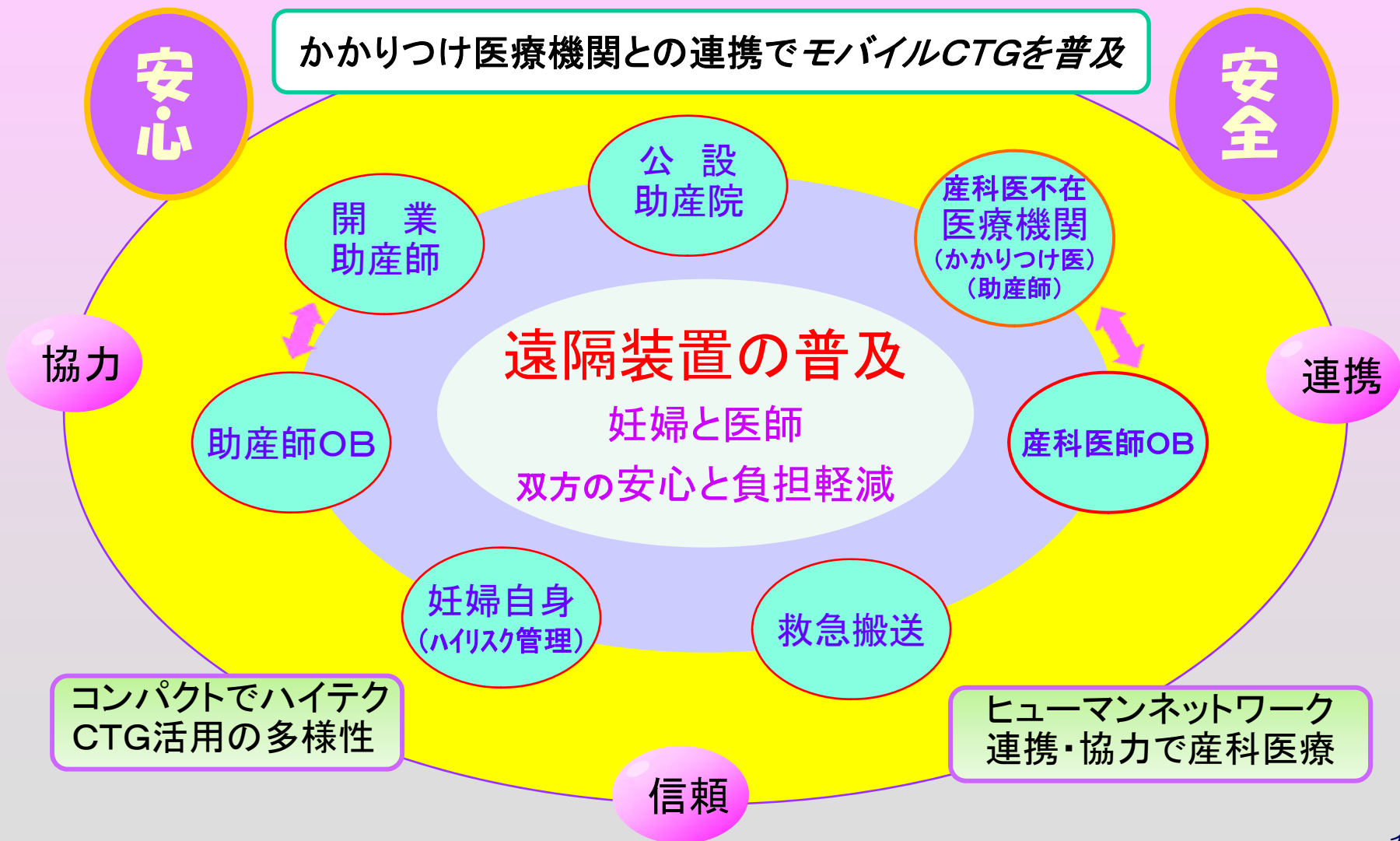
4 遠距離居住妊婦の不安解消

5 周産期医療の情報ネットワーク

遠隔装置(モバイルCTG)の普及

医療機関で安心安全にお産を迎えるために

かかりつけ医療機関との連携でモバイルCTGを普及



助産院開設後の課題と方向

産婦人科医不在の対応

- 産科医療の確保対策
- 連携協力医と助産師の確保
- モバイルCTGの活用
- 周産期情報ネットワークの構築(岩手県検証中)

助産院の運営

- 助産師の活用⇒運営費の増大
- 嘱託・連携協力医療機関の拡充
- モバイルCTGの安定運用と普及
- 妊婦健診の徹底(主治医との連携)
- 健診等の無料化検証(負担軽減でお産を支援)

産科医療の環境整備

「赤ちゃんを産みたい・・・」の地域づくり
市民協働で少子化対策

少子化対策・子育て支援総合計画「遼野わがまち」の「プラン」

「地域事情に柔軟に対処できる総合支援策として」
産科医療過疎地域への新たな支援制度創設を

産科医療過疎地域の挑戦

市民協働で築く“**安産の里づくり**”

産科医療確保へ
新たな支援制度を

地域でお産ができない

妊婦・家族の
不安と負担
「お産控える」

遠野型助産院ネットワーク構想

少子化対策

安心安全な
お産環境

赤ちゃんたくさん・・・
地域でお産サポート

合計特殊出生率

目標2.08

少子化
ストップ

少子化対策・子育て支援総合計画
(遠野わらすっこプラン)

公設公営助産院開設

医療機関の連携

- 助産師の活用
- 不安解消
- 通院負担軽減
- 妊婦の見守り
- お産環境を改善

遠隔妊婦健診

教育
救急

整備

短期入所・マザーリングも

参画

“子育てするなら遠野市”

出生のサービス

保健医療の支援

経済的支援

保育のサービス

職場環境の支援

社会地域と連携

学校教育との連携

安産の里をめざして...



遠野市キャラクターマーク
(市の花、やまゆりを持つ河童の「カリンちゃん」とめがね橋)